

矢作川環境技術研究会主催

令和7年度公開研究発表会「水は生きている 2025」

～清流を未来へつなぐ、自然と人が共生する矢作川～

当研究会は、矢作川流域においてパートナーシップによる流域管理・「矢作川方式」が定着した中で、建設工事に仮設防災など環境保全に配慮する施工技術が不可欠なため、その理念の普及と施工を支援する環境技術の体系化を図ることを目的に活動しています。

水利用が高度化した矢作川の汚濁を防止し、豊かな川と三河湾を目指すには、グローバルな気候変動や速度を速めている生物多様性の劣化による生産資源・経済的損失・生態系サービス低下への対応も重要です。国連においてはSDGs（持続可能な開発目標）が掲げられ、土木技術者にも環境重視の考え方が拡大するとともに、土木分野にもカーボンニュートラル達成に向けた貢献が期待され、低炭素社会の構築に適した技術・行動が求められています。

そこで、設立39年を迎える当研究会は、令和7年度公開研究発表会の開催テーマを“清流を未来へつなぐ、自然と人が共生する矢作川”として、会員はじめ環境への取組みにご関係の皆様にご参集いただき、様々な現場での積極的な実践と展開を考えます。

プログラム

- **開催趣旨** 矢作川環境技術研究会 会長
株式会社大林組 名古屋支店
土木工事第一部長 小坂 準一 氏
- **矢作川の水質保全状況** 矢作川環境技術研究会 顧問・・・・・・ 1
矢作川沿岸水質保全対策協議会
事務局長 都築 功憲 氏
- **研究発表（会員の実践事例）**
- （*：口述発表者）
- 発表1 **造成工事における防災対策について**・・・・・・ 5
朝日・小原・石原特定建設工事共同企業体
朝日工業株式会社 吉田 由紀夫 氏*
(質疑応答)
- 発表2 **仮締切を伴う河川内工事の環境保全・防災対策について**・・・・・・ 11
大成建設株式会社中部支店
明治用水頭首工復旧その2工事作業所 帖佐 直樹 氏*
(質疑応答)
- 発表3 **阿知和地区工業団地造成事業における環境保全対策**・・・・・・ 16
鹿島・竹中土木・朝日 阿知和工業団地造成工事共同企業体
阿知和工業団地造成JV工事事務所 伊東 文紀 氏*
(質疑応答)

□ リラックス time 35

ヴァイオリンデュオ演奏

波馬姉妹

～ 休 憩 ～

(活動展示)

□ 講演 環境DNA分析による淡水魚・両生類調査の最前線 39

株式会社大林組 技術本部技術研究所

自然環境技術研究部

主席技師

寺井 学 氏

(質疑応答)

□ 助言者講評 (助言者代表)

国土交通省 中部地方整備局 豊橋河川事務所

事務所長

稲垣 良和 氏

□ 閉会のことば

矢作川環境技術研究会 委員

大成建設株式会社中部支店

副支店長

寺崎 祐司 氏

【活動展示】

展示コーナー：ホワイエに於いて 12：15～16：00

【参加者アンケート】

予定稿挟み込みのアンケート紙にご記入いただき、お帰りの際、受付の箱に出してください。

日 時 令和 7 年 6 月 4 日 (水曜日)

・公開研究発表会 13：50～17：00

場 所 Niterra 日本特殊陶業市民会館 (名古屋)

・会場 ビレッジホール